

プログラム

中高プログラム

- * 能狂言の解説
- * 『柿山伏』
- * ワークショップ&装束の着付け

『柿山伏』

山で修業をして腹の減った山伏は他人の柿を失敬。
柿の主が通りかかり山伏に鳥や猿の真似をさせる…。
法力もないのに空威張りする山伏を風刺した作品。

狂言とは？

狂言は日本最古の会話劇です。
今から約700年前、「能」と共に確立し、能楽堂と呼ばれる専門の劇場で能と交互に演じられています。「能楽」とは、“能と狂言”この2つの異なった芸能を束ねた呼び名です。
貴族的な完成度を持つ能に対し狂言は、「庶民的・喜劇的」な物語を得意とし、愛すべき人間を笑いの中で描いています。
様々な観点から楽しむ事の出来る狂言は現代にも色褪せることなく、人間にとって大切な心を感じさせてくれます。
時代の壁を越えて心から楽しむことの出来る素晴らしい芸能です。



《笑いの芸術：狂言(体験プログラム)》

時を超えて歩み続ける伝統芸能「狂言」は磨き上げられた芸の中に人生のエスプリを味わう笑いの芸術！

大藏流若手狂言「SHIN」 -狂言界のニュー・ウェーブ-

大藏千太郎率いる若手狂言師のグループ。
伝統芸能《能楽》の普及に真摯に取り組んでいます。
狂言の分かり易い解説と参加型の鑑賞教室には定評があります。

【出演者】

おおくらせん ちろう 大藏千太郎

能楽師狂言方(大藏流)。(社)能楽協会会員。二十五世宗家大藏彌太郎の長男。
本名は「基照」(もとみつ)。祖父、二十四世宗家大藏彌右衛門及び父に師事。
「末広がり」「三番三」「那須」「釣狐」「花子」を抜く。
平成10年、宗家に伝わる幼名「千太郎」を襲名。
平成14年、基誠(弟)・教義(従弟)と共に《大藏流若手狂言SHIN》を結成。

おおくらもととなり 大藏基誠

能楽師狂言方(大藏流)。(社)能楽協会会員。二十五世宗家大藏彌太郎の次男。
祖父、二十四世宗家大藏彌右衛門及び父に師事。「末広がり」「三番三」「釣狐」を抜く。

よしだしんかい 吉田信海

能楽師狂言方(大藏流)。(社)能楽協会会員。青森県八戸市より上京、千太郎に師事。
内弟子として二十五世宗家大藏彌太郎の元、修行して、「末広がり」「千歳」を抜く。